

着実な会務運営を

副会長 二瓶 茂 (44期)

主な担当業務: 総会、常議員会、資格審査、
懲戒、綱紀、総務、人事、入退会、司法協議会、
選挙管理、職員人事・労務関係、人権賞等



温かく受け入れていただいて感謝

東日本大震災の年に日弁連事務次長に就任して16階で執務させていただいて以来、約11年振りの弁護士会です。

「またここに来てしまった」という気持ちを持ちつつ仕事を始めましたが、皆様に大変温かく受け入れていただき、安心しました。

13年前は大変混乱しており、就任早々被災地への出張を繰り返し、落ち着いて仕事をする暇もないまま、日々動き回っていましたが、その経験からしますと、大変穏やかに引き継ぎをしていただき、4月より6階にて仕事をしております。

前任の役員や職員の皆様、委員会の方々に親身にご指導をいただきながら、業務を開始できましたことに感謝しております。

明るい役員室

本年度の役員は、上田会長を中心に会務経験も豊かな持ち味抜群の6名の副会長と監事2名で構成されていますが、会長のお人柄を受けてか大変明るい面々が揃いました。

私も含めて地声の大きな役員が複数名おりますことから、役員室は何時もにぎやかで、時に笑いを交えながら活発に議論をして、協力しながら仕事をしております。

ですから、6階の役員室に行くことが苦にならず、朝早くから出勤し、滞在時間も長くなっております。

心配性な私

近時の私はかなりの心配性で、色々と考えては一人不安になっています。心配ばかりしておりますと精神的に厳しいので、「楽観的になろう」とは思うのですが、

そう思うとまた心配になってくるという悪循環に陥っています。

会務では、日々新たな課題が生じ慎重な対応を求められますが、私の心配性も、もしかしたらそうした対応の際にお役に立てるかもしれないと考えております。

明るい役員室で、心配しながらも充実した日々を過ごして参りたいと思っています。

本年度の会務の課題

本年度は、2028年に迫る基幹業務システムの大改修を踏まえてのデジタル化基本計画の実施や弁護士会館の30年目の改修に備えた各種の課題に取り組む必要があるとともに、本会運営のために必要な支出を行いながら、会員が生き生きと活躍し、職員にとっても働き甲斐のある職場環境を構築すべく、引き続き持続可能な財政規律を確立していかなければなりません。

着実な会務運営を

私ども役員が今後取り組んでいかなければならない課題は極めて多く多種多様なものがありますが、一つ一つの課題をこなし、当会の更なる発展に寄与していきたいと考えています。

副会長に就任させていただきまだ僅かな期間しか経過しておりませんが(5月14日現在)、当会が全国の単位会のリーダー的な存在であり、会務活動のあらゆる面で他会の牽引役を担っているというレガシーを長い歴史のなかで脈々と築いてきたという事実を再認識しました。

150周年に向けて、こうした会のレガシーを守りさらに発展させるために、会務の運営に着実に取り組んで参ります。

ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。